

# 秋田県におけるニホンジカの生息状況と対策

林業研究研修センター 長岐昭彦

1. どんな動物？（生態）
2. 増えて拡がりその結果（生息域と被害の拡大）
3. 増える前にすべきこと（秋田県の対策）



秋季に集団化するメス仔群(10頭)



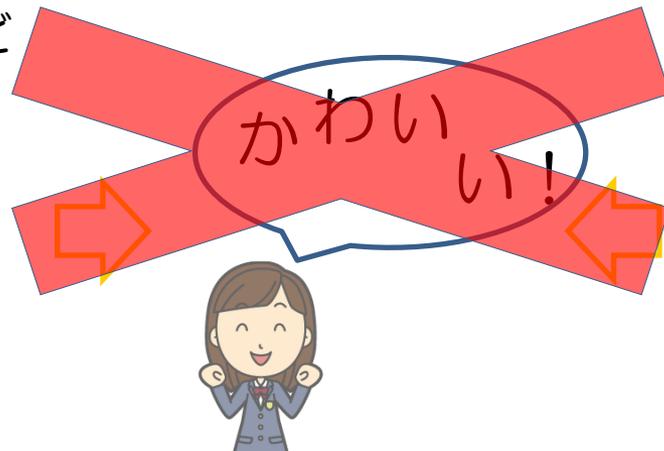
雪解け後に集団移動するメス仔群(13頭)

1. どんな動物？



# ●生態系の暴れん坊

外観から バンビ



剥皮害 (林野庁Hpより)

実際は…

- 繁殖力大
  - 満1歳から毎年出産可能
  - メスの生存率が高い
  - 4、5年で個体数が倍
- 食いしん坊、大食い
  - 植物を食べ尽くす
- 臆病で警戒心が強く、緊急時に集団化



ディアライン  
(鳥獣被害対策.comより)

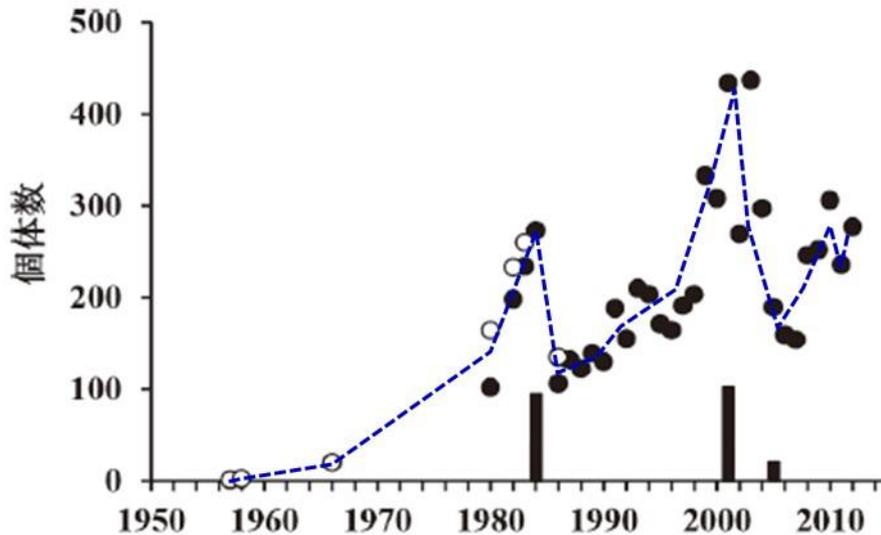


# ●環境に適合させる食性変化 (洞爺湖中島の事例)

## 個体数推移

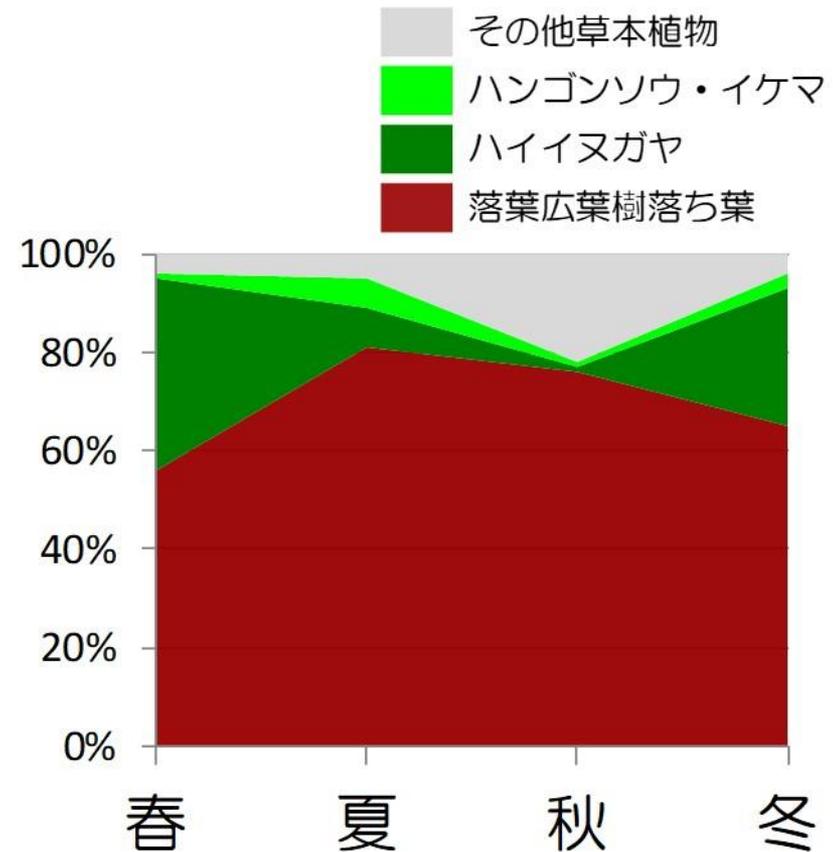
梶 2018

- 調査による実測値
- 推定値
- 自然死個体数



## 1990年代の食性

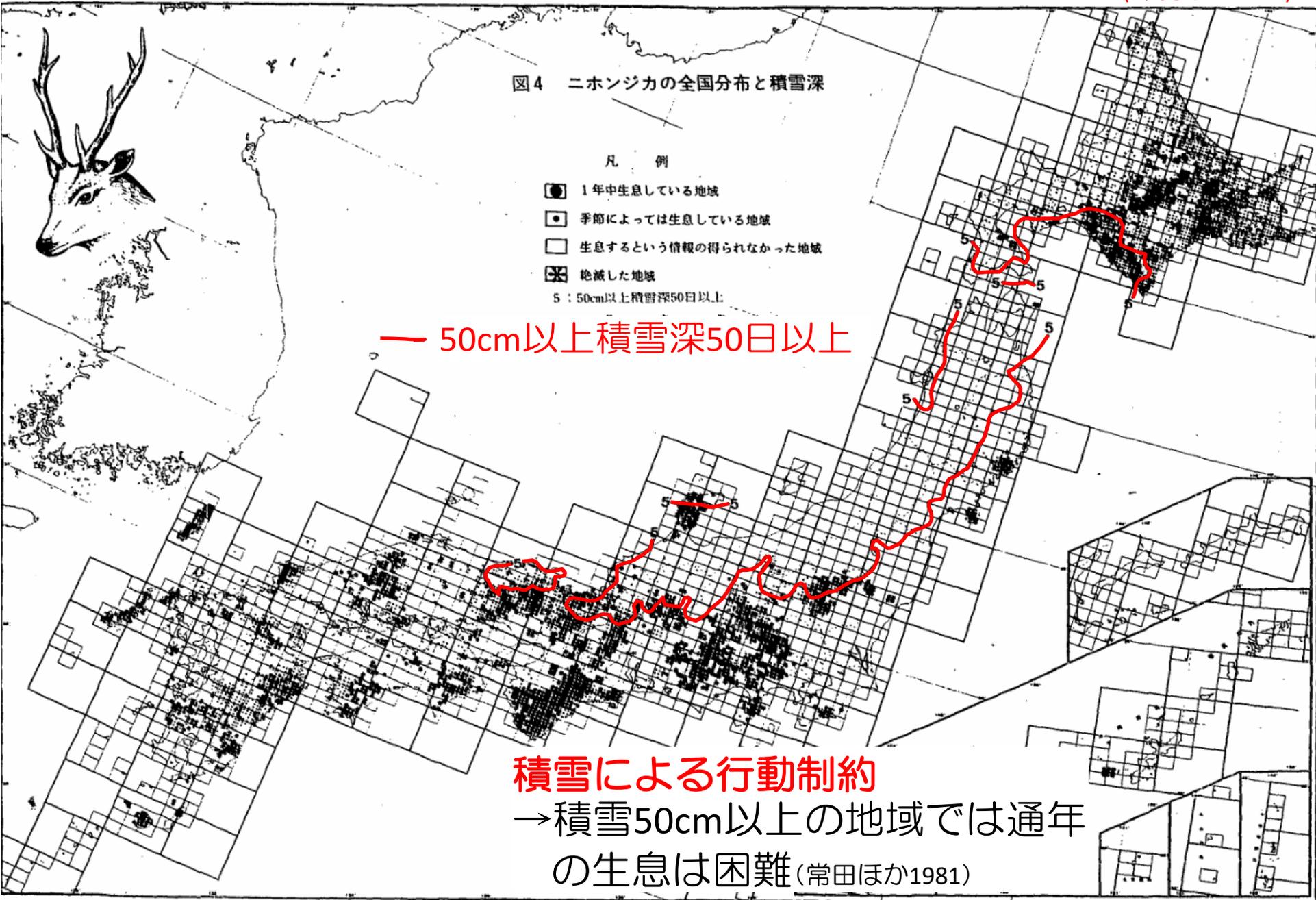
Takahashi & Kaji2001



## 2. 増えて拡がりその結果



# ●ニホンジカの分布と積雪深



# ●分布のひろがり

## ニホンジカ分布域(メッシュ数)

### 自然環境保全基礎調査

■ 1978年のみ確認(70)

■ 1978年と2003年の両方で確認(3926)

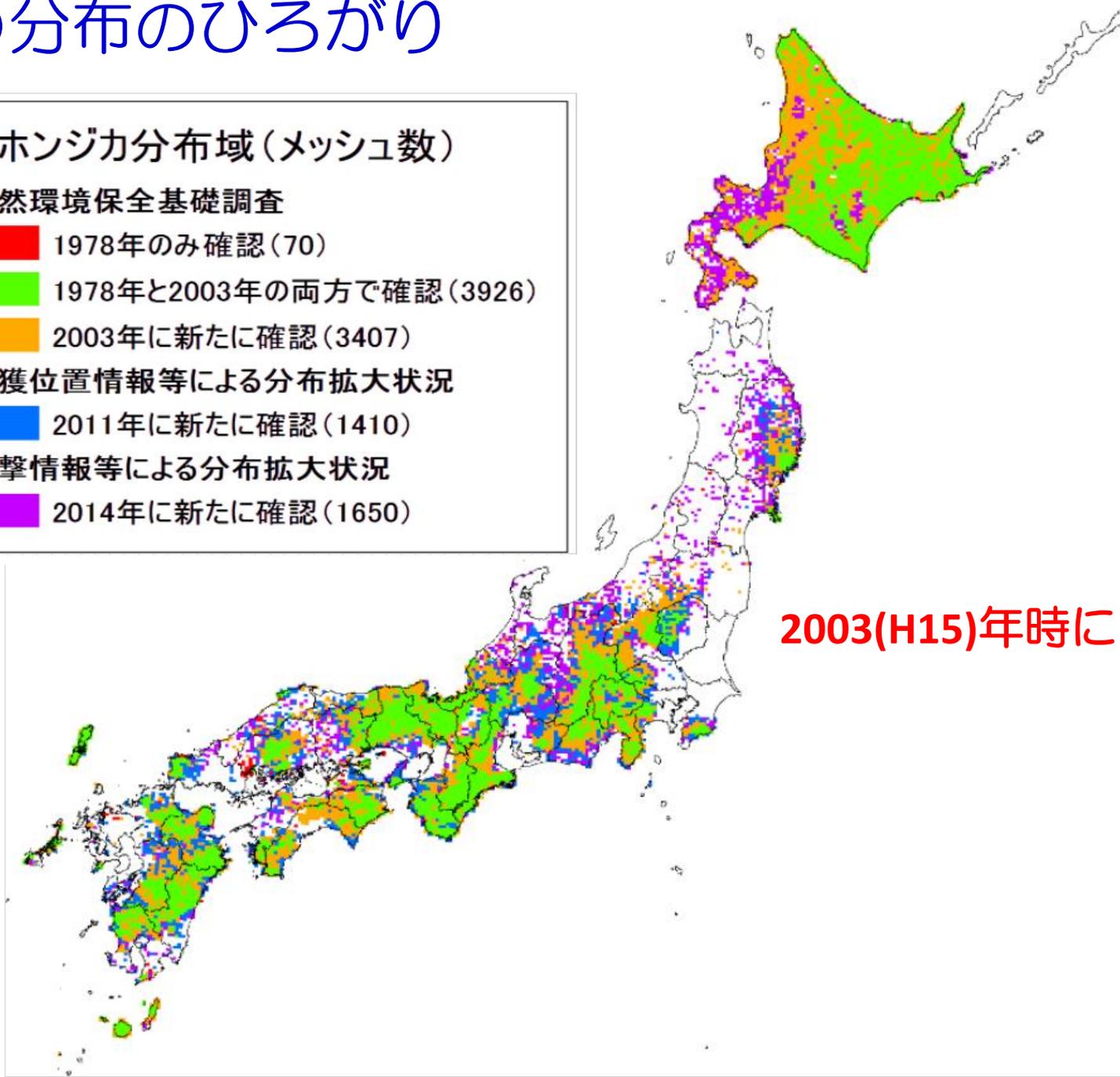
■ 2003年に新たに確認(3407)

### 捕獲位置情報等による分布拡大状況

■ 2011年に新たに確認(1410)

■ 目撃情報等による分布拡大状況

■ 2014年に新たに確認(1650)



## ●増えた要因

### ①食べものの増加

森林の伐採・植栽面積の増加  
(1950～)



写真 スギ植栽地2年目の状況

### ②捕食者(シカを捕らえる動物)の減少

- オオカミの絶滅(1905)
- ハンターの減少  
(1975年時の40%、6割が60歳以上)



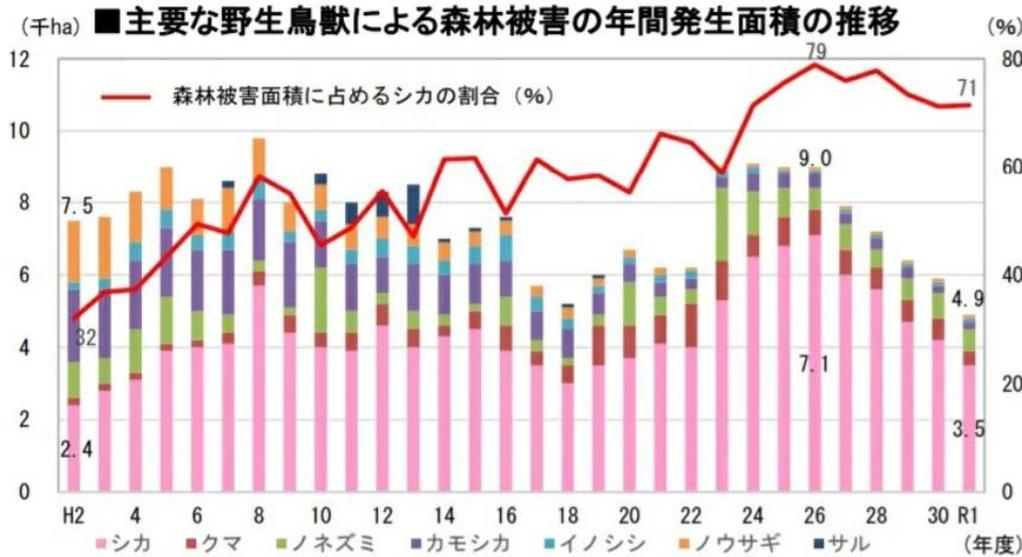
写真 ヨーロッパオオカミ  
(週刊朝日百科 動物たちの地球より)

### ③暮らしやすい場所の増加

中山間地域の過疎化で生息適地である耕作放棄地の拡大

# ●森林被害と農作物被害

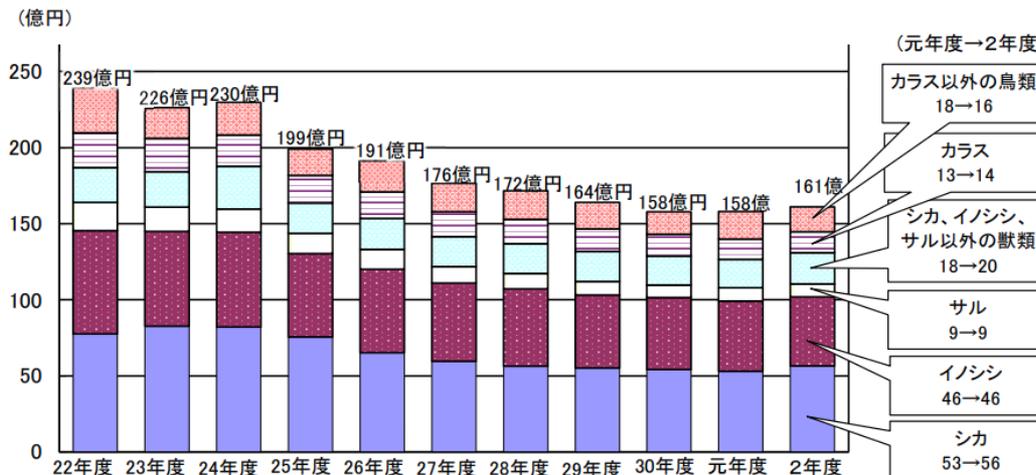
## 野生鳥獣による森林被害推移



- サル
- ウサギ
- イノシシ
- カモシカ
- ネズミ
- クマ
- シカ

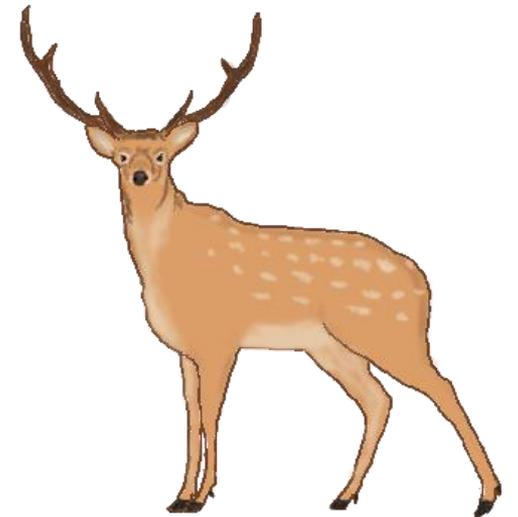
【シカの割合】  
 森林被害:71%、  
 農作物被害:35%

## 野生鳥獣による農作物被害金額の推移



資料：農林水産省調べ

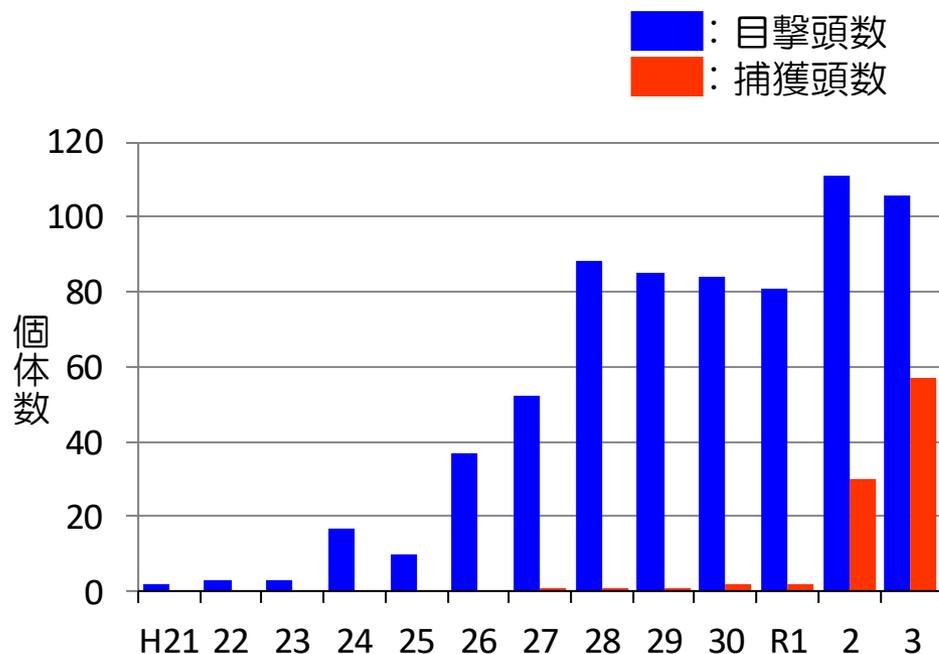
# 3. 増える前にすべきこと



# ●秋田県の日撃状況

## H21-R3 ニホンジカ目撃・捕獲位置図

秋田県におけるシカ目撃・捕獲数の推移



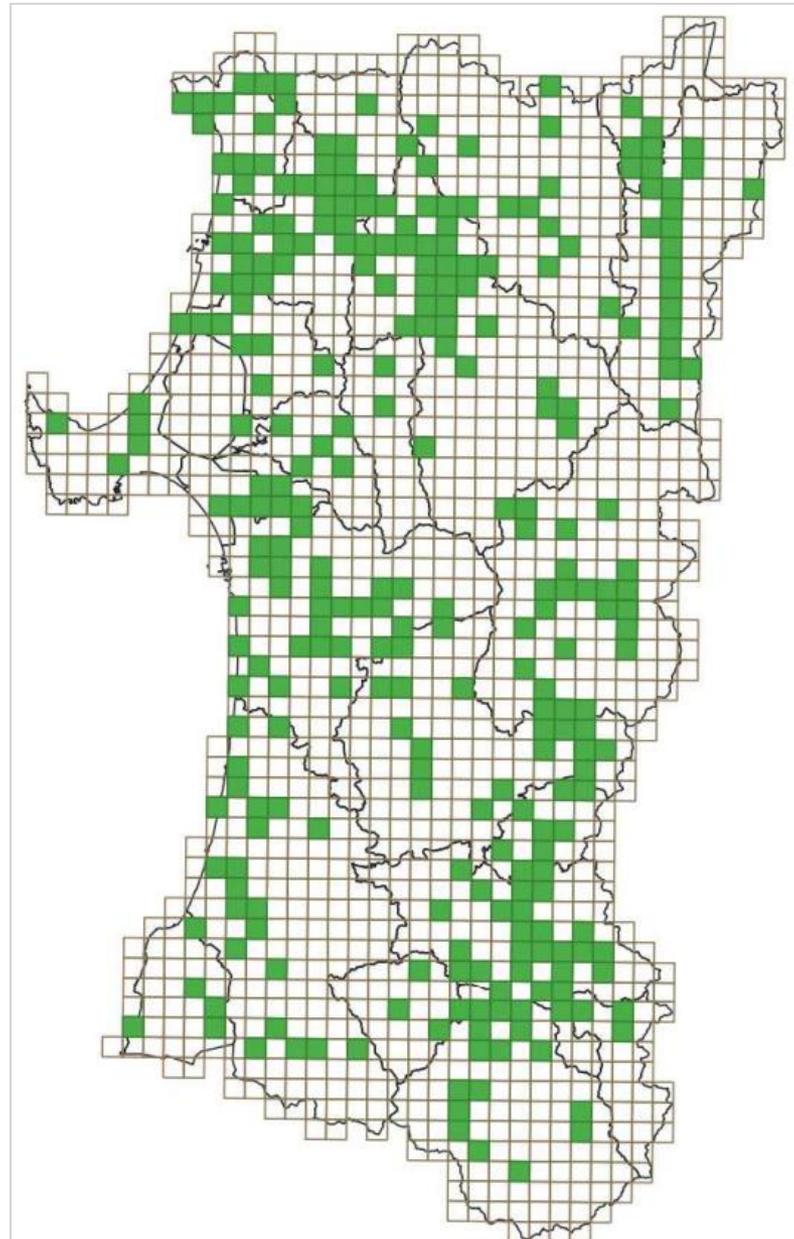
※日本海側他県の捕獲状況

青森県→ 104頭(R2)

山形県→ 64頭(R3)

新潟県→1192頭(R2)

福井県→10451頭(R2)



# ●秋田県におけるシカの剥皮害

スギ立木の剥皮害  
(仙北市西木R4.3月撮影)



リンゴの剥皮害  
(横手市増田R4.5月撮影)



## ●秋田県におけるシカ対策と課題

ニホンシカの特定期間管理計画(H29～)

増える前に捕獲!!

- 強力な捕獲圧
- 個体数増加、生息域拡大の阻止
- 農林業、生活環境、生態系への被害を未然に防ぐ

※青森県→捕獲により三八地方はH28個体数密度に、他地域は0に  
山形県→捕獲によりメスの少ない低密度の状態に

ところが

低密度下では捕獲が困難!!

そこで

越冬地(定着地)=捕獲効率の向上する箇所



降雪地域特有  
の現象

- 採餌箇所が限られ
- 雪による行動制約

⇒集団化

# ●県内の越冬地

能代市二ツ井町富根  
雄2頭

## 越冬地判定箇所

鹿角市八幡平  
北秋田市浦田  
能代市二ツ井町富根  
仙北市田沢湖周辺  
大仙市太田町川口

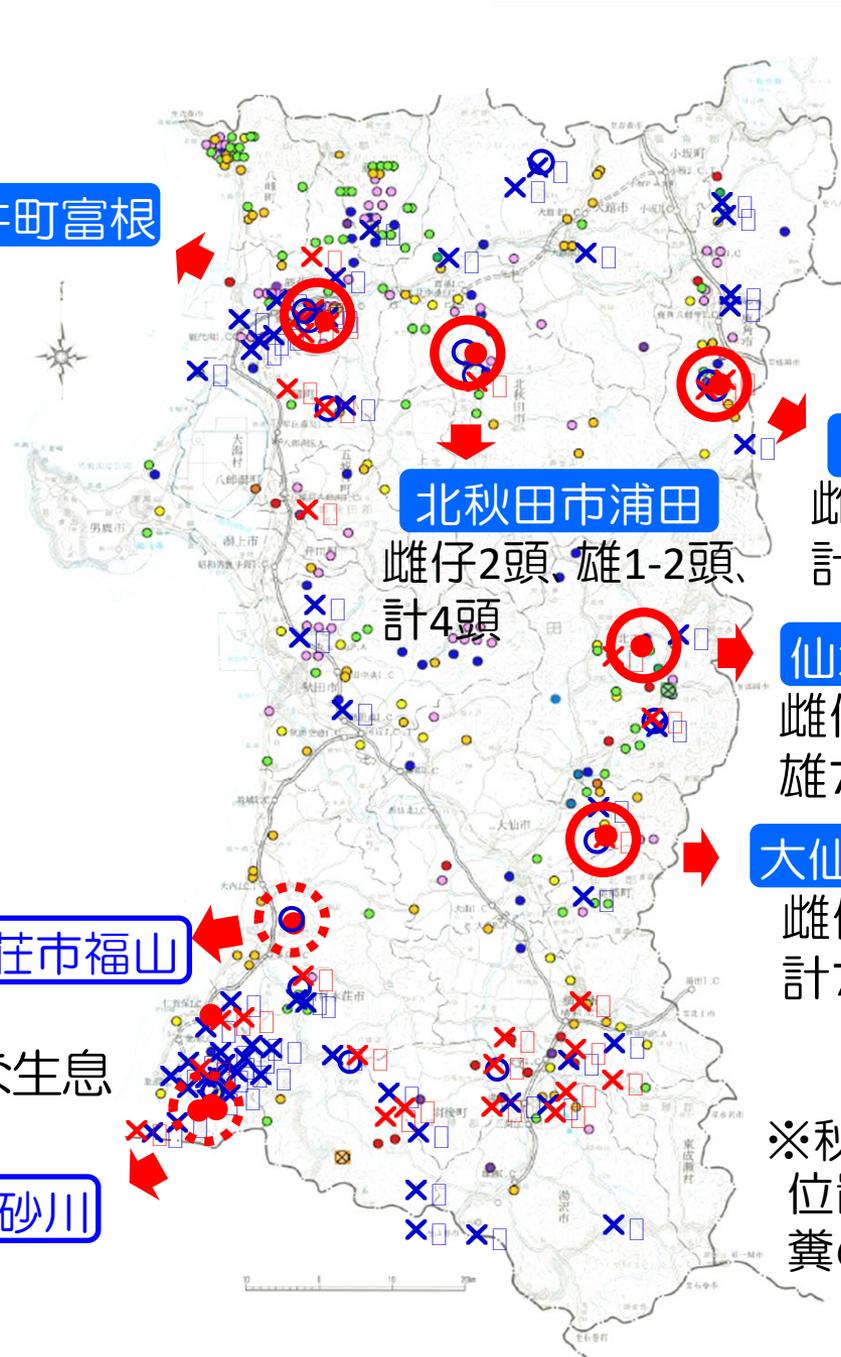
由利本荘市福山



移動個体による一時的な生息



にかほ市象潟町小砂川



- 8-11月採取陽性
- ×□ // 陰性
- 2-3月採取陽性
- ×□ // 陰性
- (with blue center) 両時期陽性  
⇒越冬候補地

鹿角市八幡平

雌仔群5頭、雄6頭、  
計11頭

北秋田市浦田

雌仔2頭、雄1-2頭、  
計4頭

仙北市田沢湖周辺

雌仔群4~8頭4群、  
雄7-13頭、計31-45頭

大仙市太田町川口

雌仔群4頭、雄3頭、  
計7頭

※秋田県のシカ目撃情報  
位置図(H21-R2)に食痕・  
糞の採取箇所を加えた

# ●森林生態系への影響

ウリハダカエデ低木への樹皮摂食(仙北市西木R4.3月撮影)

シカの痕跡の少ない林分



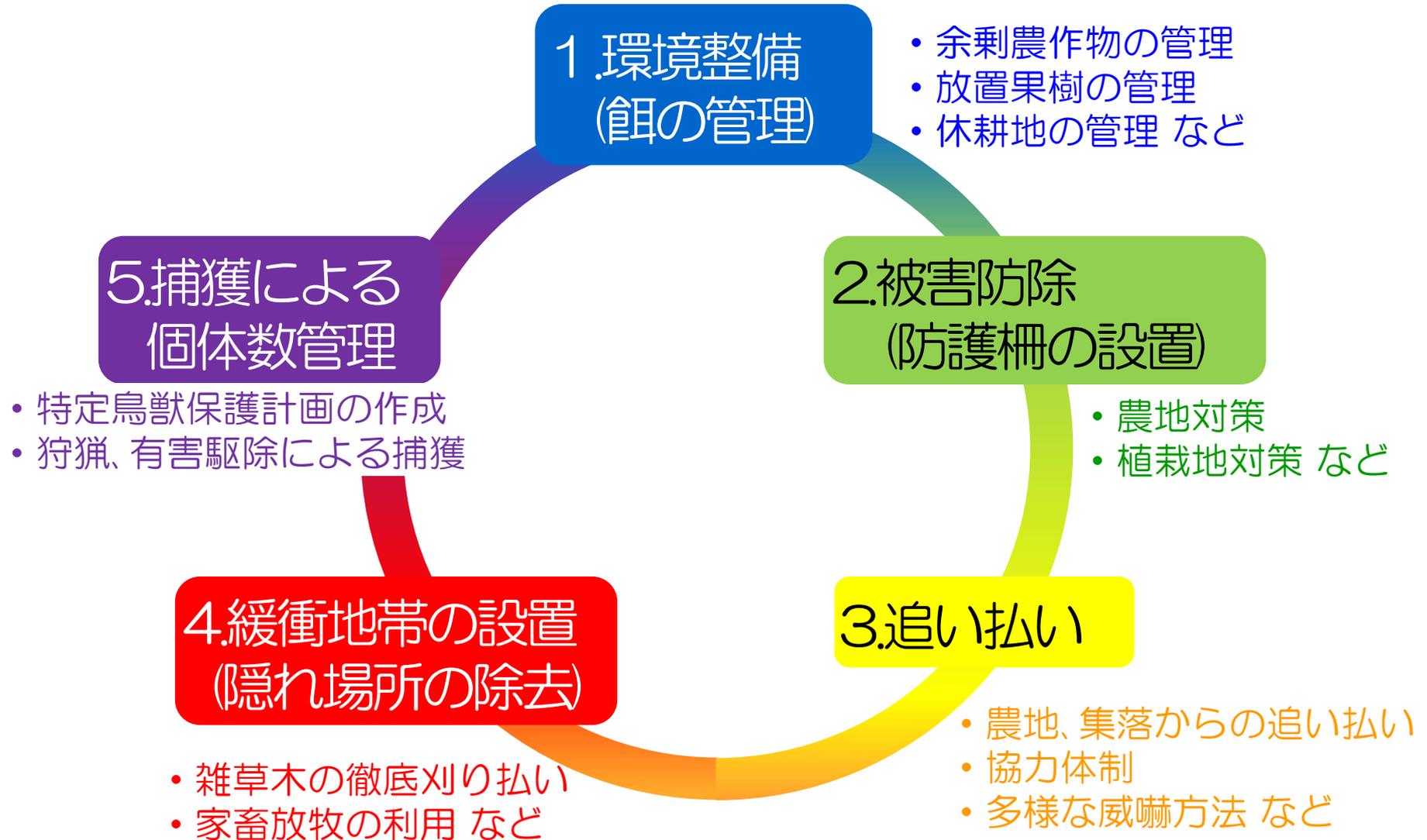
シカの痕跡の多い林分



シカによる植生変化が既に出現!!

剥皮害：小径木⇒大径木

# ●シカによる被害対策



# ●新規課題「秋田県におけるシカ密度の濃淡推定法の確立」 R5-9

## 目的

低密度下においてシカの食圧による植生変化から、シカ密度の濃淡を推定する方法を確立する

## 概要

### 1. 高密度地域の把握

越冬地における生息状況の確認(田沢湖周辺、八幡平水沢)

### 2. 植生変化の解明

- 植生の経時的変化の把握
- 嗜好性植物の解明
- スギ剥皮害の発生環境の解明

### 3. 秋田県版シカ密度の濃淡推定法の確立

越冬地における密度濃淡マップの作成

## 活用

高密度地域における対策例

- 1.(餌)環境整備 ⇒餌植物の刈り払いによる個体数制御、誘引捕獲
- 2.被害防除 ⇒餌植物の刈り残しによる被害軽減
- 4.緩衝地帯の設置 ⇒林床刈り払いによる忌避効果